

## アセスメント票

記録:相談支援センターひまわり 相談支援専門員 藤山

相談日時	令和 7 年 3 月 10 日 13 時～15 時
氏名等	米田 誉氏、22 歳、男性、軽度知的障害(療育手帳 B2)
心身の状況	身長 170 cm 体重 75kg 特に問題ない。昔より 10 キロほど太ったので、肥満体形になってきたのを気にしている。
精神面の状況	幼少期からの厳しい躰や学生時代の失敗体験や就労時代のつまずき、叱責など、うまくいかなかった経験を繰り返しているため、失敗を強く恐れている。慣れない人だとうまく話せずつまってしまったたり、不安が強くなると「〇〇していいんか？」等の確認行動が増えるなど、相手の反応を見て行動することが多くなる。 自宅での生活が長くなるにつれて、生活リズムが崩れ(夜間遅くまで起きている等)、表情も暗くなっている。 見た目は大人しそうで、家族からは「昔から口数が少なかったが、退職してからはさらに自分の話をしなくなった」と話があった。
生活の自立度	ADL はすべて自立している。 IADL は今まで自宅で生活をしており家事をやらなくてもよい状況だったので経験していないことが多いが、練習をすれば身体機能的にはできるようになる可能性がある。失敗することを恐れているため、第一歩が踏み出しにくいことが予想される。
気持ちの自立度	自分の思いを持っているが、それが良い選択なのか常に不安を持っている。また、人に相談したい気持ちもあるが、これまでの経験から人を前にすると緊張して言葉がつかまってしまうことが多いため、自分の思いを人に伝えたり相談したことがほとんどない。
服薬状況	服薬なし
経済状況	<収入面> 障害年金(基礎年金 2 級) <支出面> グループホームの費用 家賃 30,000 円(家賃補助 10,000 円) 食費 20,000 円 光熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 金銭管理の経験がない(すべて母親が管理している)
趣味	アニメ・卓球(中学時代は卓球部に所属)・音楽鑑賞(紅白歌合戦が好き)・ドラマ鑑賞 母からの強い勧めで自動車免許を取得したが、1 人で運転したことはなくペーパードライバー(運転免許試験は 4 回目合格した)。家族や友人が運転する車でのドライブが好きで誘われると必ず行っている。
キーパーソン	今までは母親が全面的に支援してきた。
家族	父(50 代) 会社員 母(50 代) 主婦 姉(26 歳) 福祉サービス業(児童分野) 弟①(19 歳) 大学生(県内・教育学部)

	<p>弟②(19 歳) 大学生(県外・社会福祉学部) 父方の祖母(90 代) 要介護 3 (月・水・金曜日 デイサービス)</p> <p>本人含めて 7 人家族であり、キーパーソンである母は父方祖母の介護も担っている。両親ともに厳格な性格で姉弟含めて厳しく躰をされてきた。姉は福祉サービス業に従事しており、本人のことも気かけながら、母の代わりに手続き等にも対応することもある。弟 2 人は双子であり、1 人は県外で 1 人暮らし、1 人は同居している。</p>
<p>就労関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、同市のスーパーに就職し総菜部門に配属された。仕事は優しい先輩の指導の下、マニュアルを元に総菜のパック詰めや陳列、調理器具等の洗い物を担当し、半年後には一人で業務を任されることが多くなった。しかし、1年後、様々な業務を経験するためにレジ業務に配置転換されると、レジ操作の理解や商品のカゴ入れ等の対応が上手くできず、客からのクレームや上司からの叱責が続き、その焦りから確認行動やミスが続き欠勤することが増え、退職した。退職後は両親の伝手で引っ越し業と回転寿司でのアルバイトをしたが長続きせず、現在は自宅で何もせずに過ごしている。</li> <li>・自宅では自室でアニメ雑誌や録画したドラマ等を見て過ごし、起床時間も8時~12時頃とバラバラで生活リズムが安定していない。</li> <li>・自動車免許を取得しているが 1 人で運転したことはなく、ペーパードライバー。現在の主な移動手段は自転車であるが、練習した交通機関であれば利用できるとのこと。</li> </ul>